



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 株式会社 沖縄銀行
コード番号 8397 URL <http://www.okinawa-bank.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画本部長
四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

(氏名) 玉城 義昭
(氏名) 山城 正保
特定取引勘定設置の有無 無

TEL 098-867-2141

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満は切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,137	0.8	8,302	8.5	4,559	14.2
25年3月期第3四半期	36,820	△2.3	7,648	△4.2	3,991	△12.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,264百万円 (2.4%) 25年3月期第3四半期 5,137百万円 (14.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	223.28	222.70
25年3月期第3四半期	194.85	194.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,915,582	132,325	6.6
25年3月期	1,959,174	128,941	6.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 127,858百万円 25年3月期 124,876百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	32.50	—	32.50	65.00
26年3月期	—	32.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	32.50	65.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	△15.8	5,000	△16.0	245.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	21,000,000 株	25年3月期	21,000,000 株
26年3月期3Q	713,455 株	25年3月期	571,954 株
26年3月期3Q	20,418,911 株	25年3月期3Q	20,486,684 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) セグメント情報	6
(6) (参考) 四半期信託財産残高表	6
3. 補足説明	7
(1) 損益の状況【単体】	7
(2) 預金等、貸出金の状況【単体】	8
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体・連結】	9
(4) 有価証券の評価差額【連結】	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

経常収益は、貸出金利息の減少などにより資金運用収益は減少したものの、有価証券関係収益及び役務取引等収益の増加などにより、前年同期比3億17百万円増加の371億37百万円となりました。

また、経常費用は、新システム開発に伴う支出などによる営業経費の増加はあったものの、預金利息及び与信費用の減少などにより、前年同期比3億36百万円減少の288億35百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比6億53百万円増加の83億2百万円、四半期純利益は前年同期比5億67百万円増加の45億59百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末比435億円減少の1兆9,155億円、純資産は前連結会計年度末比33億円増加の1,323億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金は、営業活動の強化により個人預金が増加したものの、公金預金が減少した結果、銀行・信託勘定合計で前連結会計年度末比341億円減少の1兆7,437億円となりました。

貸出金は、住宅ローンやアパートローンが好調に増加したものの、地公体向け貸出や法人向け貸出が減少した結果、銀行・信託勘定合計で前連結会計年度末比129億円減少の1兆2,144億円となりました。

有価証券は、国債、地方債等公共債を中心に金融市場動向を睨みながら資金の効率的運用と安定収益の確保に努めた結果、前連結会計年度末比10億円増加の6,005億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月8日に公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
現金預け金	46,340	40,139
コールローン及び買入手形	35,734	8,606
買入金銭債権	238	253
有価証券	599,542	600,545
貸出金	1,222,230	1,210,170
外国為替	2,766	2,996
リース債権及びリース投資資産	14,795	15,109
その他資産	15,995	16,715
有形固定資産	19,320	18,999
無形固定資産	2,631	2,842
繰延税金資産	1,807	1,110
支払承諾見返	10,047	10,109
貸倒引当金	△12,277	△12,016
資産の部合計	1,959,174	1,915,582
負債の部		
預金	1,701,553	1,673,466
借入金	10,398	10,758
外国為替	85	7
信託勘定借	71,142	65,993
その他負債	28,913	15,448
賞与引当金	691	175
役員賞与引当金	30	16
退職給付引当金	5,641	5,479
役員退職慰労引当金	28	22
信託元本補填引当金	84	195
利息返還損失引当金	83	54
睡眠預金払戻損失引当金	61	61
繰延税金負債	0	—
再評価に係る繰延税金負債	1,468	1,468
支払承諾	10,047	10,109
負債の部合計	1,830,232	1,783,256
純資産の部		
資本金	22,725	22,725
資本剰余金	17,629	17,629
利益剰余金	76,573	79,801
自己株式	△1,993	△2,567
株主資本合計	114,934	117,588
その他有価証券評価差額金	8,788	9,118
繰延ヘッジ損益	—	△0
土地再評価差額金	1,152	1,152
その他の包括利益累計額合計	9,941	10,270
新株予約権	158	188
少数株主持分	3,906	4,278
純資産の部合計	128,941	132,325
負債及び純資産の部合計	1,959,174	1,915,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
経常収益	36,820	37,137
資金運用収益	23,370	23,122
(うち貸出金利息)	20,704	20,214
(うち有価証券利息配当金)	2,579	2,847
信託報酬	380	382
役務取引等収益	3,251	3,421
その他業務収益	9,435	8,902
その他経常収益	382	1,308
経常費用	29,171	28,835
資金調達費用	2,477	1,899
(うち預金利息)	1,836	1,426
役務取引等費用	1,340	1,428
その他業務費用	7,095	7,727
営業経費	15,669	15,845
その他経常費用	2,588	1,934
経常利益	7,648	8,302
特別利益	0	0
固定資産処分益	0	0
特別損失	5	11
固定資産処分損	5	11
減損損失	0	—
税金等調整前四半期純利益	7,642	8,291
法人税、住民税及び事業税	3,403	2,747
法人税等調整額	△73	611
法人税等合計	3,329	3,358
少数株主損益調整前四半期純利益	4,312	4,932
少数株主利益	321	372
四半期純利益	3,991	4,559

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,312	4,932
その他の包括利益	824	332
その他有価証券評価差額金	834	333
繰延ヘッジ損益	△9	△0
土地再評価差額金	△0	—
四半期包括利益	5,137	5,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,816	4,888
少数株主に係る四半期包括利益	320	376

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成25年11月8日開催の取締役会における自己株式の取得決議（取得株式数上限15万株、取得価格総額上限700百万円、取得期間平成25年11月11日から平成25年12月20日まで）に基づき、当第3四半期連結累計期間において、市場から自己株式（15万株、602百万円）を取得しました。

上記の事由を主因として、当第3四半期連結会計期間末の自己株式の残高は、前連結会計年度末比574百万円増加の2,567百万円となっております。

(5) セグメント情報

報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	27,928	7,352	35,280	2,097	37,378	△ 240	37,137
セグメント間の内部経常収益	171	86	258	1,568	1,827	△ 1,827	-
計	28,100	7,438	35,539	3,666	39,205	△ 2,067	37,137
セグメント利益	6,816	459	7,276	1,034	8,311	△ 8	8,302

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、信用保証業等であります。

3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) (参考) 四半期信託財産残高表

(単位:百万円)

資産		
科目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
貸出金	5,198	4,313
その他債権	3	4
銀行勘定貸	71,142	65,993
合計	76,344	70,311

(単位:百万円)

負債		
科目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
金銭信託	76,344	70,311
合計	76,344	70,311

3. 補足説明

(1) 損益の状況【単体】

経常収益は、貸出金利息の減少などにより資金運用収益は減少したものの、有価証券関係収益及び役員取引等収益の増加などにより、前年同期比5億49百万円増加の281億円となりました。

コア業務純益は、経費は増加したものの、資金利益及び役員取引等利益の増加などにより、前年同期比9百万円増加の76億6百万円となりました。

経常利益は、与信費用は増加したものの、有価証券関係損益が増加したことなどにより、前年同期比4億57百万円増加の68億16百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比5億円増加の40億62百万円となりました。

(単位：百万円)

科 目	平成26年3月期 第3四半期 (9ヶ月)	対前年同期比	平成25年3月期 第3四半期 (9ヶ月)	平成26年3月期 通期業績予想 (12ヶ月)
経常収益	28,100	549	27,550	36,500
業務粗利益	22,686	△ 163	22,850	
資金利益	20,673	341	20,331	
役員取引等利益	1,981	238	1,742	
うち信託勘定不良債権処理額 ①	-	△ 56	56	
その他業務利益	32	△ 744	776	
うち国債等債券関係損益(5勘定戻)	△ 107	△ 749	641	
経費(除く臨時処理分)	15,188	519	14,669	
うち人件費	7,285	72	7,213	
うち物件費	7,095	469	6,626	
コア業務純益	7,606	9	7,597	10,000
一般貸倒引当金繰入額 ②	648	685	△ 37	
業務純益	6,850	△ 1,368	8,218	9,000
臨時損益	△ 33	1,826	△ 1,859	
うち株式等関係損益(3勘定戻)	841	1,385	△ 543	
うち不良債権処理額 ③	956	△ 420	1,376	
うち信託元本補填引当金戻入益 ④	-	△ 20	20	
うち償却債権取立益	110	24	86	
経常利益	6,816	457	6,358	8,100
特別損益	△ 7	△ 2	△ 5	
税引前四半期純利益	6,809	455	6,353	
法人税、住民税及び事業税	2,311	△ 624	2,936	
法人税等調整額	434	579	△ 145	
法人税等合計	2,746	△ 44	2,791	
四半期純利益	4,062	500	3,562	4,700
与信費用(①+②+③-④)	1,604	228	1,375	

(注) 1. コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益＋信託勘定不良債権処理額

2. 業 務 純 益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額

(2) 預金等、貸出金の状況【単体】

① 預金等

退職金、給与振込等の獲得強化や取引先従業員への営業強化により個人預金が増加したほか、法人預金についても「SR（ストロングリレーション）活動」に注力し、預金増強に努めた結果、全体では前年同期比463億円増加の1兆7,565億円となりました。

(単位：億円)			(参考)	(単位：億円)	
	①平成25年12月末	②平成24年12月末	増減(①-②)	③平成25年9月末	増減(①-③)
預金	17,565	17,102	463	17,769	△203
うち個人預金	11,351	11,092	259	11,197	154
預金(平残)	17,524	17,090	433	17,553	△29

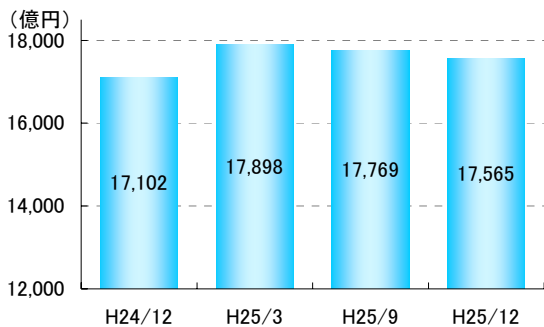
(注) 信託勘定を含んでおります。

〔預金を除く預かり資産残高〕

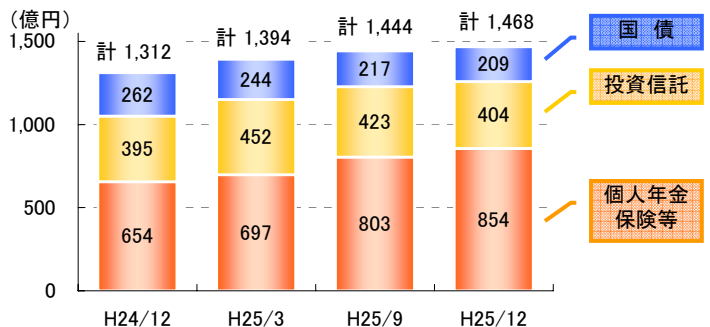
(単位：億円)			(参考)	(単位：億円)	
	①平成25年12月末	②平成24年12月末	増減(①-②)	③平成25年9月末	増減(①-③)
預かり資産	1,468	1,312	155	1,444	24
国債	209	262	△52	217	△7
投資信託	404	395	8	423	△19
個人年金保険等	854	654	199	803	50

〔預かり資産〕お客様の資産運用商品を総称して、「預かり資産」と呼んでいます。

預金(末残)の推移



預かり資産残高の推移



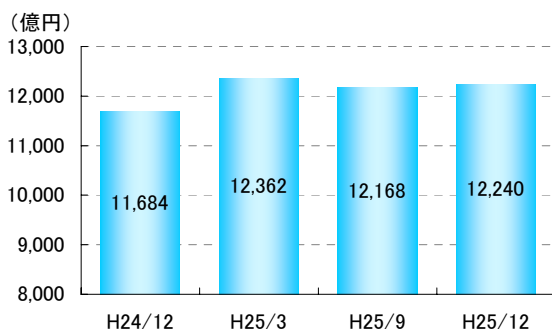
② 貸出金

リテール営業の強化により、住宅ローンやアパートローンが好調に増加したほか、SR（ストロングリレーション）活動により取引先と関係強化に努め、事業性貸出も増加したことから、全体では前年同期比556億円増加の1兆2,240億円となりました。

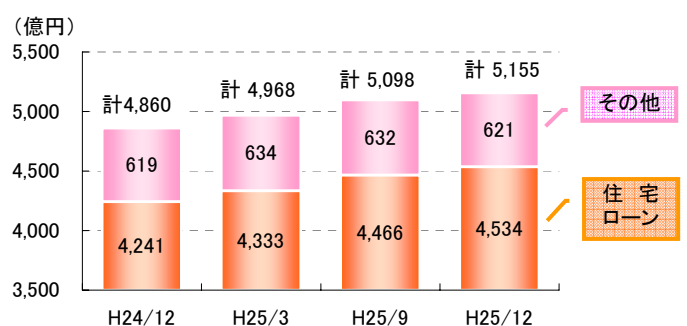
(単位：億円)			(参考)	(単位：億円)	
	①平成25年12月末	②平成24年12月末	増減(①-②)	③平成25年9月末	増減(①-③)
貸出金	12,240	11,684	556	12,168	71
うち生活密着型ローン	5,155	4,860	294	5,098	56
うち住宅ローン	4,534	4,241	293	4,466	67
貸出金(平残)	11,953	11,500	452	11,915	37

(注) 信託勘定を含んでおります。

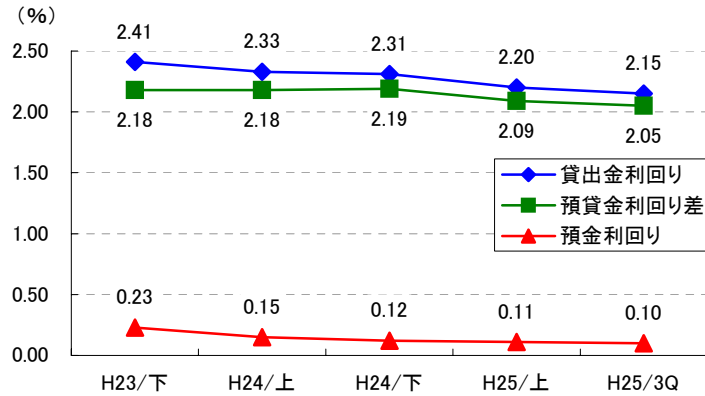
貸出金(末残)の推移



生活密着型ローン(末残)の推移



③利回りの推移



(注1) 「H25/3Q: 第3四半期(10~12月)の会計期間利回り
 (注2) 信託勘定を含んでおりません。

(3)金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

単体の金融再生法開示債権残高は、前年同期比29億円増加の224億円、開示債権比率は前年同期比0.16ポイント上昇の1.81%となりました。
 開示債権残高は前年より増加しましたが、開示債権比率は低い水準となっており、銀行の資産の健全性に問題はございません。

【単体】

(単位: 億円、%)

	①平成25年12月末	②平成24年12月末	増減(①-②)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	95	107	△12
危険債権	71	66	4
要管理債権	57	20	37
合計	224 (1.81)	194 (1.65)	29 (0.16)

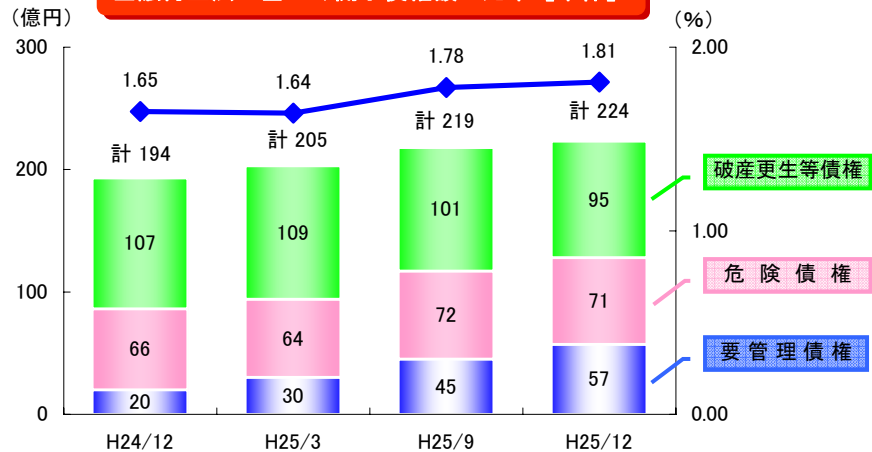
(参考)

(単位: 億円、%)

	③平成25年9月末	増減(①-③)
	101	△6
	72	△1
	45	12
	219 (1.78)	4 (0.03)

(注) 信託勘定を含んでおります。

金融再生法に基づく開示債権額・比率【単体】



【連結】

(単位: 億円、%)

	①平成25年12月末	②平成24年12月末	増減(①-②)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100	118	△17
危険債権	71	67	4
要管理債権	57	20	37
合計	230 (1.87)	206 (1.75)	24 (0.12)

(参考)

(単位: 億円、%)

	③平成25年9月末	増減(①-③)
	107	△6
	72	△1
	45	12
	225 (1.85)	4 (0.02)

(注) 信託勘定を含んでおります。

(4)有価証券の評価差額【連結】

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含めておりません。

	①平成25年12月末		②平成24年12月末		増減(①-②)		(参考) ③平成25年9月末		増減(①-③)	
	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益
満期保有目的の債券	20	0	48	0	△ 28	△ 0	22	0	△ 2	△ 0
債券	20	0	48	0	△ 28	△ 0	22	0	△ 2	△ 0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	①平成25年12月末		②平成24年12月末		増減(①-②)		(参考) ③平成25年9月末		増減(①-③)	
	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額
その他有価証券	5,962	136	5,971	79	△ 8	57	5,960	131	2	5
株式	196	61	149	4	46	57	181	51	15	10
債券	5,532	62	5,610	70	△ 78	△ 7	5,562	65	△ 30	△ 3
その他	233	12	210	5	22	7	217	13	16	△ 1
うち外国債券	178	0	168	3	10	△ 3	159	1	19	△ 0

(注) 各四半期末の「含み損益」及び「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額(償却原価法適用後・減損処理後)と時価との差額を計上しております。

その他有価証券の評価差額【連結】

